

# KIDS SMILE LABO JOURNAL

“キッズ スマイル ラボ ジャーナル”

KIDS SMILE LABO が発行するフリーペーパー。普段 SNS でしか見られない保育園の子どもたちの様子や、子育てに関する情報等、最新情報をお届けします。

Vol.15  
**2022**  
TAKE FREE



KIDS SMILE LABO の 1 枚。

副園長の森菅さんが選んだ、とっておきの 1 枚を紹介します！

## “思いやりのバトン”

みんなから少し遅れて歩いていた一人の子  
そこへ先を歩いていた年長の子が来た道を戻ってやってきた

「一緒に行こう」  
そう言って二人の手がギュッと繋がる  
自然と足取りが軽くなる  
仲間の存在とその力の大きさをを感じる

緑のトンネルに真っ直ぐ伸びる道を二人で行く  
先で仲間たちが待っていた  
ここにも温かさが待っていた  
また一つになって歩き始める

繋がれた手は来年、再来年、その先へと  
思いやりのバトンとなって繋がっていく

photo & text by morimori

今月のおすすめ note !

かおちゃんのつれづれラボ日記

### 「学びの時間」

KIDS SMILE LABO の園内研修。スタッフみんなで楽しく取り組みましたよ。

もりもりのわくわくラボ日記

### 「やってみたいをカタチに 巨大なスライムに寝てみたい！」

大きいお友達の“ やってみたいこと第二弾” どんな様子だったのか ... ぜひご覧ください！

園長 松下かおる



副園長 森菅



続きは note にて →

**kidssmilelabo.com**

@kidssmilelabo

KIDS SMILE LABO

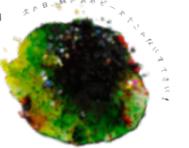
@kidssmilelabo

@KIDS\_SMILE\_LABO

● DAICHI  
● OOZORA  
● MINAMO



スライムのお布団に寝てみよう！



子どもたちの「やってみたい」をカタチにしていこうとしています。

8月はスライムづくりがブームとなり「スライムのお布団に寝てみたい！」という声があがりました。

そこで、巨大スライムづくりにみんなでチャレンジ！個々にタライでスライムを作り、ダンボール枠に投入し、どんどん大きくしていきました。

あまりにも大量のスライムづくりに、洗濯のりとホウ砂水のどちらを入れれば固まるのか、途中わからなくなるほどでした。ひたすら混ぜて、混ぜて、混ぜあわせ。。

みんなの力で、洗濯のり 20 本分のスライムベッドが完成！早速、順番に寝そべてみることに。

どの子もスライムがそっと背中につく瞬間、にこ〜っと目尻が下がり、静かに笑みを浮かべていました。

体の背面を通して、スライムの感触を全身で味わっている様子が伝わってくるようでした。

身体はというと初めてのことにカッチカチの子もいれば、「リラックスできる〜」とふにやふにやに力を抜いている子もいましたよ。

寝そべったあとは、みんなでベッドに飛び込んで遊びました。お腹に入れてスライムを赤ちゃんに見立ててみたり、爆弾にして床に落としてみたりと！遊びが色々と生み出されていました。

次の日も興奮の中、遊びは続きました。着色やデコレーションをし、自分だけのオリジナルスライムも作り、最後は全身スライムまみれになって遊び尽くしました。

大好きなスライムを全身で感じた2日間。身体で感じ、心を動かし、やりきる！

やってみたいことに挑戦した結果がそんな姿に繋がったことを嬉しく思いました。

まだまだ、やってみたいシリーズは続いていきます。「やってみたい」に挑戦する楽しさが、子どもたちの心に根付いていくといいなと願っています。

文 ちなちゃん



KIDS SMILE LABO CLASS NEWS

8 August

● NOBANA

赤い服の野菜

5月末に植えたトマトの苗。

まだ、実も花もつけていない苗をみて、何の野菜ができるのか分からない子どもたち。

散歩出発前や活動前に水やりをしながら「おおきなあれ！」と言ってみたり、「トマト」のうたをうたったりと観察する日々が始まりました。

日が経つにつれ、黄色い花をつけ、小さな緑のトマトができる。子どもたちと一緒に土がカラカラで元気がない様子を感じたり、花や実の数を数えてみたり、苗がのびてきているのを感じました。植えたときには自分と同じくらいの大きさの苗はみると成長し大きくなりました。緑から赤になるトマト。「みどりはとらないよ！」と教える姿や、「赤くなって！」とトマトの成長に心を寄せる言葉もありました。

そして、赤くなったトマトを食べる時。食べた瞬間、美味しさのあまり口に手をあて笑顔の表情。「おいしい」「もう一個！」「おかわり！」と言葉にし、一人ひとりが育てたトマトをしっかりと味わうことができ、嬉しく感じました。

トマトだけでなく、他の野菜を育て、食べ物の大切さやその季節の旬の野菜と一緒に感じていきたいなと思っています。

文 さっちゃん



# SOYOKAZE

## 遊び方は無限大！感触遊び

連日の猛暑でお外に出られない日々が続く中、そよかぜクラスのみんなは感触遊びや素材遊びをして室内活動を楽しんでいます！トイレトペーパーに綿、寒天や氷などなど♪

トイレトペーパー遊びでは、頭の上にペーパーが乗った保育者の姿を見て「おぼけ！おぼけ！」と大爆笑！

寒天遊びでは、色付き寒天に光が当たるとキラキラしてきれいな事を発見して、袋に入れた寒天を窓に照らしては「きれいなね〜」「かわいいね〜」とウツリとした表情でずっと眺めていました。

新聞紙遊びでは、たくさんの新聞紙に包まれると何だか心地がよくて、顔だけ出して新聞紙に埋まり、まるでみの虫みたいになっていました。

毎回素材によって色々な反応や表情、遊び方を見せてくれる子ども達、そんな姿を見て保育者である私達も新たな発見がいっぱいでびっくりする事が沢山あります。

子ども達の手にかかれればどんな物も楽しい遊び道具！遊び方は無限大！全身で素材・感触遊びを楽しんでいます。

これからも様々な感触を通して、楽しみながら子ども達の豊かな感性を大切に育んでいきたいと思います。

文 あやや



# KOMOREBI

## ふわふわ、ゆらゆら、きもちいいね

毎日暑い日が続き、水遊びをしたり、幼児室や 2343 の探検に出て楽しく過ごしています。新しい発見があると、目をきらきらと輝かせて集中する姿もみられ、日に日に大きくなっていく子どもたちです。

最近の子どもたちのお気に入りはお布で遊ぶことです。午睡の準備を始めようとお布団をだすと、ごろんと寝転がりにやってきます。

寝転がっている子どもたちをタオルの上においでおいでと誘い、保育者二人で端をそれぞれ持つと、ハンモックのようにゆらゆらと揺れます。布のあたたかさにつつまれていると気持ちの良さから、ニコッと笑いかけてくれます。

「ことりことり」のわらべ歌に合わせて揺られ、最後は山にしたお布団にダイブ！体が転がっていくのもまたおもしろく、もう一回やって！と指を出してきゃっきゃと笑います。

これがとても大人気で、次はぼくもやってよ〜と集まってきたり。友達が揺られているのを見て、「あっ！あっ！」と声をあげて拍手をしていたり。

気持ちが焦って「はやくやってよ〜」と泣いてしまうこともありますが、「おいでおいで」と声を掛けると、ぱっと目を輝かせてニコニコしながらタオルの上に寝転がります。

この時だけはその子だけの特別な時間。目を合わせて微笑みあったり、布や肌の感触の心地よさを味わう大切な遊びの一時です。

「ことりことり」はとても簡単にできるふれあい遊びです。ぜひ、お家でも遊んでみてくださいね。

文 しおちゃん



### CHECK!!

KIDS SMILE LABO のinstagram にて「ことりことり」の歌付きの動画を公開しています！（ストーリーのアーカイブをご覧ください。）

Instagram



## KIDS SMILE LABO KITCHEN

### Vol.05 万能！手作り塩麩のレシピ

今回は、Labo でも使用している塩麩のレシピをご紹介します！特別な機械などがなくても作る事ができますよ。

【分量】  
乾燥麩 200g 塩 70g 水 300ml

- 【作り方】
- ①ボウルに塩と乾燥麩を入れて、麩の塊がなくなるまで、しっかりと混ぜる。（手で混ぜても、スプーンで混ぜてもOK）
  - ②①に水を加え、塩の粒々がなくなるまでよく混ぜる。（※水は塩麩の風味に影響するため、ミネラルウォーターを使用するのがオススメ）
  - ③清潔な保存容器に入れ、蓋をして常温で熟成させる。（※熟成中にガスが発生する事があるため、蓋は完全にぎゅっと閉めず、少し緩めておくが良い）
  - ④夏場は約1週間、冬場は10日〜2週間程熟成させ、1日1回かき混ぜます。（※水位が下がってきたら加水し、麩が水に浸っている状態を保つ）

酵素の力で、お肉やお魚を柔らかくしたり、クリームシチューやサラダ、スープの味付けにも使える万能調味料です。塩の代わりに塩麩を使うことで味がまろやかに、深みも出ます。KSL KITCHEN のInstagram にも塩麩を使用したレシピを載せていますので、是非参考にしてみてください。



### KIDS SMILE LABO KITCHEN

保育園KIDS SMILE LABOで毎日子どもたちに提供している給食は厚木で育った旬の野菜、無添加調味料を使用して安心安全に、そして見て美しい食べて美味しい給食を2343FOODLABO監修のもと、調理をしています。



Instagramもぜひご覧ください

# KIDS SMILE LABO で よく耳にする 「リズム」って なんだろう。

BY KAORU MATSUSHITA



夏になり暑さ指数が毎日とても高く、戸外活動が出来ない間、室内の活動で子ども達の体の動きを保障していく遊びとして、さくらさくらんぼ保育で行われている、リズムあそびを取り入れてきました。このリズムあそびは開園当初から研修を重ね、職員の中にも浸透してきました。乳児クラスでは歌を歌うと反射で身体が動く姿があります。子どもたちからのリクエストも多く「もう一回！」と何度も繰り返す姿が見られます。1年間を通じて保育者が常に様々な歌を歌い、毎日の活動の中にリズムあそびを取り入れてきた日々の積み重ねが感じられます。今回はこのリズムあそびとはどのようなものなのか、またどのような想いから作られたのかを、園田学園女子大学論文集 第53号(2019.1) 門脇早穂子・鷲見三千代さんの論文から抜粋したことを参考にし、ご紹介したいと思います。



## リズムあそびとは？

1915(昭和31)年より埼玉県「さくら保育園」で音楽を有効に活用した身体活動として創設者の齋藤公子により始められました。今から約66年前に齋藤公子自身によって考案され、さくら保育園の中で実践され、その後この想いに賛同する多くの保育園で取り入れられています。齋藤先生によると、脳中枢は6歳頃までに大人のほぼ90%に達するとし、触覚、視覚等の感覚神経と、手や足等の動かす各運動神経を発達させることで、就学可能にする知的な脳の発達を促す土台となると述べられています。(齋藤公子記念館 2011:20) 齋藤先生は、「子どもたちの全身がリズムに溶け込んで伸び伸びと躍動する手足の筋肉。その筋肉から脳に伝えられる微妙で強力な刺激。人間らしい喜びと誇りに輝く子どもの表情」(齋藤 1994:10)を大事にしていました。つまり身体を動かすことだけが大切だけでなく、リズム、身体、刺激、感情の相互作用により、子どもたちの生き生きとした表現となると考えていたのです。リズム遊びは普通の生活で思いっきり身体を動かすことが難しくなっている昨今では、定期的に行う活動として筋力や体幹を鍛えることが出来るといえます。このリズムあそびは、子どもの年齢やそれぞれの子ども達の発達に応じて必要不可欠な要素を取り入れた動きが多く取り入れられています。

リズムあそびは下記のように様々な題名の曲があり、子どもの発達や要求に合わせて曲や順番を組み替えることで、毎日行っても新鮮な気持ちで活動に臨むことができます。また、曲の組み合わせにより、手先・手足・胸・脚・首・腹の筋肉を楽しく、くまなくしなやかに使うように考えられています。このリズムあそびが作られた想いやねらいについて、知れば知るほど奥が深く全身の筋肉だけではなく脳まで刺激できる、さくらさくらんぼのリズムあそびは本当に素晴らしいと実感しています。

種類	曲名
1 動物・虫	赤いかにこがに、あひる、うさぎ、うさぎとかめ、うま、かえる、かめ、かもしか、兄弟すずめ、金魚のひるね、鯉の滝登り、こま、小鳥のお話、すずめ、ちょうちょう、ちょうを舞う、津軽の荒馬、とんぼつばめ①②、とんぼのめがね、ひらひらちょうちょう、めだか、両生類のようなハイハイ
2 自然物・現象	木の葉、こなゆきこんこ、ジングルベル、どんぐり、どんぐりころころ、ゆき
3 動くもの	糸くるま、お舟、汽車、三輪車、時計
4 遊び	かけ踏み、氷すべり、こま、なわとび、ぶらんこ、まりつき、雪あそび
5 身体の動き	ギャロップ、スキップ、スキップキップ、側転(ホルスカの曲にて)、側転(風三郎滝三郎)、とびはねろ、フォローステップ、ホップステップジャン
6 踊り	トロイカ、カリンカ、ベトナムの竹踊り君、ポルカ、ラン・アンド・ストップ
7 その他	唄(花と子供と蝶)、海辺で戯れる子どもたち、五色の玉、ごまのまへの、兄さん太郎は

(齋藤 1994, 齋藤公子記念館 2011)

## リズム遊びで育つ力

### 1 音楽的側面 *music*

- ・音を聞き分けて体を動かすことが出来る
- ・音楽を聴き分け動作をつけていくことが楽しいと感じる
- ・ピアノに合わせて体を動かすので、リズム感がついてきている

### 2 身体的側面 *physical*

- ・体幹を鍛え体の使い方を知る
- ・身体能力の向上
- ・しなやかさ、柔軟性
- ・体のバランス感覚
- ・脱力する力や姿勢を保持する力
- ・手足の協応動作やスピード感が育つ
- ・受診する怪我が少なく、大きな怪我がほとんどない
- ・身のこなしが軽く、即時反応が出来るようになる

### 3 精神的側面 *mental*

- ・健康な心が育まれている
- ・集中力、忍耐力の向上
- ・出来たときに内なる自信を感じられる
- ・少しずつ意識して動くことができるようになる
- ・朝の活動に意欲的に取り組める

### 4 他者との関わり *cooperation*

- ・人とタイミングを合わせていく力
- ・ルールを知る
- ・友だちと一緒にするのがたのしい
- ・友だち関係づくり

### 5 その他 *others*

- ・リズム運動によってとは言いきれないが、総合的取り組みの中で子どもが発達している
- ・軽い自閉症の子どもも毎日同じ動きを繰り返すことで音楽を聞いて自然と体が動くようになった



子どもからは「かおちゃん」の名で親しまれている、KIDS SMILE LABO の園長。15年の保育現場経験を経て、保育園 KIDS SMILE LABO を開園。趣味の畑作業を通して、日常的に自然に触れ、「地域」「家族」「自然」「仲間」と繋がることを自身のテーマとして日々追究している。

保育園 KIDS SMILE LABO  
園長 松下 かおる

子ども達の発達に合わせたリズムあそびを行うことで、たくさんの方が育つという研究結果があります。KIDS SMILE LABO でも、これから暑さが和らぎ戸外活動が中心の季節になっていく前に、夏の間でも体力が落ちないよう室内で楽しみながら行えるリズムあそびを活動の中に積極的に取り入れていきたいと考えています。また、ご家庭でも「もしもし亀よ」と「トンプのメガネ」を歌っていたら、子ども達の身体が自然と動き、リズムあそびの様子がみれるかもしれませんので、ぜひ歌ってみてくださいね。

### まとめ



かめ

園田学園女子大学論文集 第53号(2019.1)  
門脇早穂子・鷲見三千代さんの研究した論文の内容より引用